



追い星（口の周りのつぶつぶ）と鱗の黒い縁取りは繁殖期を迎えたモツゴのオスの特徴だ。

今年も在来魚の繁殖が確認されている。モツゴは繁殖期特有の特徴が出たオスの成魚や、お腹に卵を持っているメス、今年生まれの稚魚を確認している。また、張網に使用する支柱にびっしりと卵が産み付けられていたこともあった。

図1は2014年から現在までの張網によるモツゴの捕獲数の推移である。お茶の水池、ポート池、弁天池での1網あたりの捕獲数を示している。お茶の水池では、昨年よりも多くのモツゴが捕獲されている。かいぼりの前よりも順調に回復しているようである。

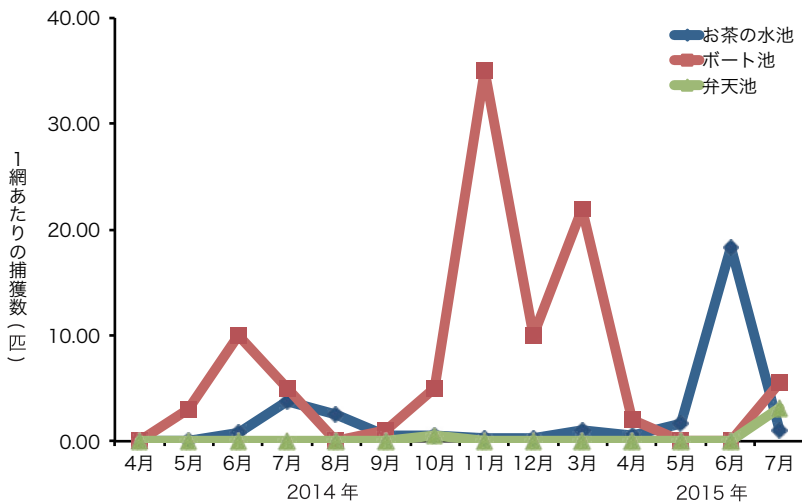


図1. 張網でのモツゴの捕獲数の推移

今年の在来生物の繁殖状況

昨年度に引き続き、かいぼり隊は水生生物モニタリングとアメリカザリガニ防除に取り組んでいる。2014年1月に行われたかいぼりから約1年半が経過した現在、井の頭池の生きものたちはどのような状況なのだろうか。モニタリングの結果を報告する。

井の頭池、どんな状況？ モニタリング経過速報！

そのほか、トウヨシノボリやスジエビ、テナガエビなども幼魚や抱卵個体が多く見つかっている。ただ、昨年度はたくさん見つかっていたナマズの幼魚は、今年は1匹も確認されていない。



ザリガニのワナを見回るかいぼり隊

アメリカザリガニは、4月から11月頃まで繁殖するので秋には再び増加する可能性もある。冬にかいぼりが始まるまで、防除の手を緩めずに、駆除圧をかけていくことが重要だろう。

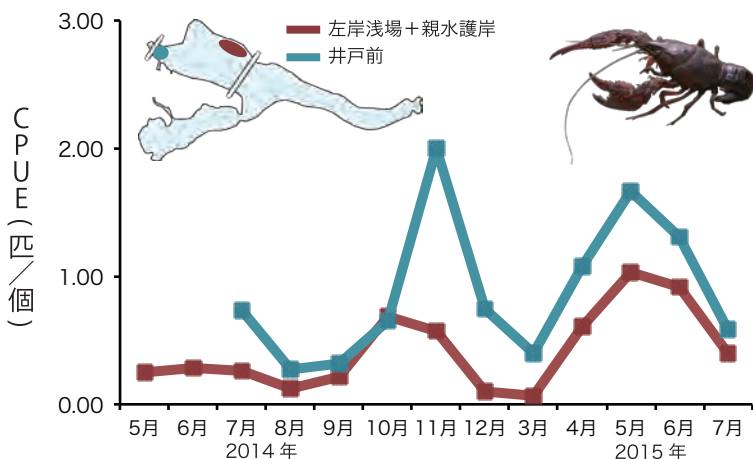


図2. お茶の水池におけるアメリカザリガニの1ワナあたりの捕獲数

アメリカザリガニ防除途中経過

図2は、昨年从今年7月までのアメリカザリガニのCPUE（1ワナあたりの捕獲数）の推移を表している。秋に微増し、12月には水温の低下により活動性が下がったために捕獲数が減少したと思われる。4月になり暖かくなると、昨年生まれの個体も捕獲できるようになり、捕獲数は増加した。6月以降は減少している。それでも昨年よりも、まだまだ多い状況である。



ウキゴリを確認！

かいぼりの時にはほとんど見つからず、絶滅が心配されていたハゼの仲間、ウキゴリが確認された。上半期一番の嬉しいニュースだ。ウキゴリは昨年度のかいぼり隊の活動では1匹も捕獲されなかったが、今年は5月に初確認されて以降、毎回1匹は捕獲されている。ウキゴリの減少要因は外来魚のほか、水質の影響も大きいようだ。井の頭池の水質が改善され、昨年よりも増えたのだとしたら大きな成果である。

池の透明度計測

今年のかいぼり隊の任務として新たに池の透明度の計測を開始した。計測には直径30cmの白円盤（透明度板）を使用する。これを池に沈め、見えなくなった深さが池の透明度である。

図3に8月現在までの結果をまとめた。かいぼりを行ったお茶の水池とボート池では、透明度板が池底に着地しても見えていた（着底という）。対する弁天池では、水深の半分ぐらいのところで見えなくなってしまう。かいぼりを行った池では、池底が見えるぐらいの透明度が保たれていることがわかった。

ところが7月の記録的な猛暑と少雨のためかアオコの発生が確認された。その結果、7月には透明度が大きく下がってしまった。

とはいえ、かいぼりを行った池と行わなかった池でこれだけはっきり違いが出たことは注目される。今年の冬には2回目のかいぼり、そして弁天池のかいぼりも予定されている。

弁天池では、今のところ一度も着底していないが、かいぼりによってどれだけ変化が見られるか、今から楽しみだ。

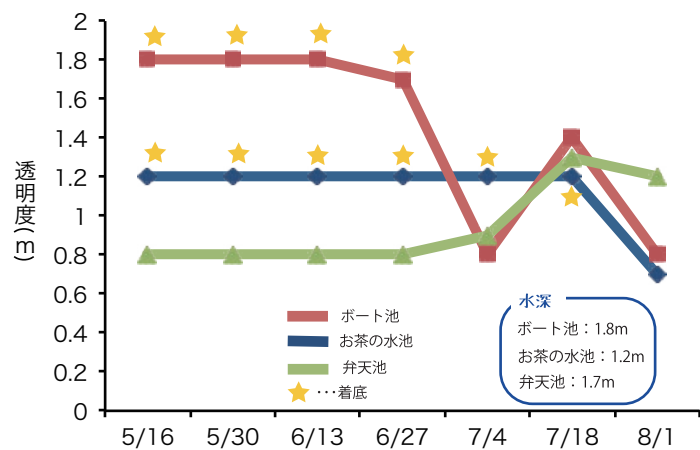


図3. 2015年上半期の透明度の変化



計測の様子



いけいけ！かいぼり隊

イクメン イクガール
～新たな池男 & 池女 誕生！の巻～

今年度、かいぼり隊の登録を継続した隊員は34名。冬に予定されているかいぼりに向けて戦力を増強するため、かいぼり隊の追加募集を行った。7月25日に行われた説明会を経て、19名の新たな隊員が誕生した。

8月2日からは、全6回の講習会がスタートしている。この講習では、井の頭池の生きものや、水生植物、外来生物問題、普及啓発など、活動していく上で必要な知識を学ぶ。講習は9月まで続き、10月にはさらに研修を経て、この冬のかいぼりに備える予定である。かいぼりでの彼らの活躍が楽しみだ。



講習を受けるかいぼり隊のたまごたち

★Topics

バンが繁殖しました！



ワナの上を歩くバンの雛

昨年はカイツブリの複数のペアが繁殖しましたが、今年はバンも繁殖しました。5月中旬にはお茶の水池を泳ぎ回るようになったかと思うと、池に設置しているワナに上ったりワナをついてみたりと、好奇心いっぱいなのです。今では体も大きくなり、すっかり若者らしくなっています。

今年も水草が生えました！



水面まで伸びたイトモ

かいぼりを行ったお茶の水池・ボート池では、今年も水草の群生が確認されました！

4月中旬頃からイトモの切れ藻が漂っているのが見つかっていましたが、昨年よりも水の濁りが強かったためになかなか生育場所を特定できずにいました。6月にお茶の水池の数地点で生育が確認されたほか、ボート池では大きな群生が見つかりました。ところが、7月以降はアオコが発生し、水が濁ってしまいました。今年はこれ以上の水草の発見は難しいかもしれませんが、冬にかいぼりを行うのでまた来年に期待したいです。